

独立行政法人国際交流基金 平成 26 年度評価 項目別自己評価調書  
 (国民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する事項)

1. 当事務及び事業に関する基本情報	
No. 7	国際文化交流への理解及び参画の促進と支援
業務に関連する政策・施策	基本目標：Ⅲ 広報、文化交流及び報道対策 具体的施策：Ⅲ－1－4 国際文化交流の促進
当該項目の重要度、難易度	
当該事業実施に係る根拠 (個別法条文など)	独立行政法人通則法 独立行政法人国際交流基金法
関連する政策評価・行政事業レビュー	平成 26 年度行政事業レビューシート番号 068 (独立行政法人国際交流基金運営費交付金)

2. 主要な経年データ						
①主要なアウトプット (アウトカム) 情報						
	達成目標	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
(1) ウェブサイトを通じた情報発信						
基金ウェブサイトアクセス数	5,460,503	4,882,626	5,451,329	6,122,235		
「をちこち」訪問者数		94,696	149,788	177,969		
(2) ソーシャル・メディア						
利用者数		14,533	45,413	102,631		
(3) 本部図書館 (JFIC)						
利用者数		20,769	21,255	22,706		
レファレンス対応件数		800	668	712		
②主要なインプット情報 (財務情報及び人員に関する情報)						
	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
予算額 (千円)	476,836	441,185	463,820			
決算額 (千円)	494,114	492,093	400,580			
経常費用 (千円)	569,459	593,669	500,611			
経常利益 (千円)	△30,613	△67,555	△42,793			
行政サービス実施コスト	-	-	-			
従事人員数	5	4	3			

注) 予算額、決算額は支出額を記載。人件費については共通経費分を除き各業務に配賦した後の金額を記載。

※財務情報は「調査研究・情報提供等事業費」。

※人件費については、「予算額」「決算額」には含まず、「経常費用」には含む。

※「従業員数」はコミュニケーションセンター人員数。

### 3. 各事業年度の業務に係る目標、計画、業務実績、年度評価に係る自己評価及び主務大臣による評価

#### (1) 中期目標

国内外各層の国際文化交流への理解及び参画の促進と支援のため、以下を行う。

- ア 内外の国際交流関係者に対して、顕彰や情報提供等の支援を行うことにより、国際文化交流への理解を促す。
- イ 国際文化交流活動の意義と重要性を提示し、担い手としての民間セクターの参画を促進すべく、基金本部及び海外事務所の図書館ネットワーク、ウェブサイトやSNS、印刷物等の各種媒体を通じて、基金事業に関する情報を効果的かつ効率的に提供する。
- ウ 我が国を巡る国際環境の変化に伴う、内外の国際文化交流の動向の変化を把握し、これらに的確に対応するため、必要な調査・研究を行う

#### (2) 中期計画

国内外各層の国際文化交流への理解及び参画の促進と支援のため、以下を行う。

- ア 内外の国際交流関係者に対して、顕彰や情報提供等の支援を行うことにより、国際文化交流への理解を促す。
- イ 国際文化交流活動の意義と重要性を提示し、国際文化交流活動の理解者を得るとともに、担い手としての民間セクターの参画を促進すべく、基金本部及び海外事務所の図書館ネットワーク、ウェブサイトやSNS、印刷物等の各種媒体を通じて、基金事業に関する情報を効果的かつ効率的に提供する。

基金本部に設置されている図書館については、経費の増大を招かない形で、レファランス対応の強化等により、利用者数の増加、効果的な運営及び利用者の利便性向上に引き続き取り組む。

国際交流基金ウェブサイトについては年間アクセス件数が第2期中期目標期間の平均値を超えることを目標として内容を充実させる。

- ウ 我が国を巡る国際環境の変化に伴う、内外の国際文化交流の動向の変化を把握し、これらに的確に対応するため、必要な調査・研究を行う。

#### (3) 年度計画

国内外各層の国際文化交流への理解及び参画の促進と支援のため、平成26年度においては以下のように事業を行う。

- ア 国内のさまざまな国際交流関連団体及び人物とのネットワークの形成と強化を図るため、国際文化交流全般及び基金事業に関する情報を提供し、国際文化交流及び基金事業に対する理解を求める。

- イ 基金本部に設置されている図書館については、図書館のリソースを活用した展示その他のイベントを実施し、効果的かつ効率的に情報提供を行い、基金事業への理解と関心を高めるとともに、利用者数の増加を図る。
- ウ 国際文化交流に貢献のあった国内外の個人・団体に対する顕彰を行い、これを効果的に広報することにより国際文化交流及び基金への理解と関心を得るように努める。また、国内の地域に根ざした優れた国際交流を行っている団体を顕彰し、効果的な広報を行う。
- エ インターネットを通じた広報及び交流をさらに強化する。基金ウェブサイトについては、情報アクセシビリティの確保・向上を含むリニューアルを行う。若い世代を中心としたネットユーザーに対しては、Twitter や Facebook 等のソーシャルメディアへの取り組みを強化する。また、インターネットを通じた英語による発信の強化を図る。
- オ 基金の活動と成果を広く発信し、国際文化交流の意義と基金の事業に対する一般の理解を促進する活動を行う。
- カ 我が国を巡る国際環境の変化に伴う、内外の国際文化交流の動向の変化を把握し、これらに的確に対応するため、必要な調査・研究を行う。

#### (4) 主な評価指標

##### <主な定量的指標>

- ① 国際交流基金ウェブサイト年間アクセス件数（第2期中期目標機関平均値以上）

##### <その他の指標>

- ① ウェブマガジン「をちこち Magazine」平成26年度訪問者数14万件（平成25年度同様の発行回数年11回の場合）

##### <評価の視点>

- ① 効果的な顕彰事業の実施
- ② 基金事業に関する情報の内外への効果的かつ効率的な提供
- ③ 基金事業への国民からの積極的な参画・支援を促す国内認知度の向上
- ④ 本部に設置されている図書館の効果的な運営と利用者数の増加
- ⑤ 内外の国際文化交流の動向把握のための調査・研究の実施

#### (5) 法人の業務実績・自己評価

##### ①業務実績

##### <主な業務実績>

#### **内外の国際交流関係者に対する顕彰や情報提供**

国際交流基金賞、地球市民賞の顕彰事業を行うことによって、国際文化交流への理解を促した。

国際交流基金賞においては、日本研究などこれまで多くの授賞者を輩出してきた分野に加え、新たに日本語学習者に落語を通じて日本語表現および日本文化の魅力を伝える活動に携わってきた落語家の柳家さん喬氏が授賞し、主要各紙の「人」欄などで取り上げられたことにより、

これまで基金事業に関心をもたなかった多くの市民に国際文化交流への理解を促すことができた。国内報道件数 67 件。

地球市民賞においては、世界的に活躍する著名人が代表を務める団体を顕彰するとともに、各授賞者の地元である奈良、兵庫、沖縄各県において伝達式を行うことによって地元メディアを中心に 78 件の報道があり、一般市民の間に国際文化交流への理解を促すことができた。

### 国際文化交流（基金事業を含む）に関する情報提供

- ア. 若年層へ訴求するために、Facebook、Twitter などのソーシャル・メディアにおいて、受信者の関心动向を踏まえてタイムリーかつ適切な発信に努めた結果、合計で 126%のアクセス数増加（対前年度比 226%）を達成した。
- イ. ウェブサイトについては、日本語教育、アジアセンター、KAKEHASHI プロジェクトのコンテンツを中心にアクセス数が増え、前年度比 12.3%の増加を達成し、過去 6 年間で最大のアクセス数を記録した。これにより、平成 26 年度は達成目標を上回った。ウェブマガジン「をちこち」については平成 26 年度中に 11 回発行し、目標値 14 万件を 27%上回る約 17.8 万件の訪問者数を得た。
- ウ. JFIC ライブラリーについては、ニーズの高まりに応え、従来は収集対象外だった日本語教材類を購入するなどして、利便性向上に引き続き取り組んだ結果、来館者アンケートで 87%が満足またはやや満足と回答し、利用者数が 6.8%の増加を見た。

### 内外の国際文化交流の動向把握のための調査・研究の実施

- ア. 海外主要国の国際文化交流に関する政策及び政策立案と実施を担う機関等に関して、平成 25 年にとりまとめた基礎的データの更新を行った。各文化交流機関の基礎データのうち、特に予算内訳、スタッフ内訳、海外事務所数、自国語普及に関する事項（海外語学講座数・受講者数、語学試験実施状況）については各種分析及び政策立案に有用であることがわかったため、それぞれ詳細につき追加調査を行った。結果については、政策立案のための資料作成、国会議員等からの照会対応、組織方針検討等に活用した。
- イ. 文化によるオリンピック・パラリンピック東京大会への貢献に関し、前回の事例研究としてブリティッシュ・カウンシル、在京英国大使館から情報収集を行ったほか、有識者へのヒアリング、各種会合への参加を通じて「文化プログラム」の進捗状況の確認や他団体の動きの把握を行った。
- ウ. 平成 27 年度に実施する「2015 年度日本語教育機関調査」の準備を進めたほか、日本語派遣専門家の調査や在外公館の協力を得て国別情報やシラバス翻訳等の情報を収集し、海外日本語教育振興に関する情報・データ提供を行った。

## ② 評価結果の反映状況

### <評価結果>

顕彰事業については、その意義に立ち返りつつ、時代の変化に応じて顕彰の対象等の見直しを図ることも必要である。また、国内外で国際交流基金の活動やその成果は十分に知ら

れていない面もあるため、適切な目標設定も含め国際文化交流への理解促進に向けてより一層の取組を期待したい。

海外日本語教育機関調査、各国の主要文化交流機関に関する調査については、中国や韓国が自国語普及を含む文化交流を強化する中、調査結果を組織の戦略・方針・事業などにどう活用するかが肝要であるため、活用方法の早急な検討が望まれる。

#### <反映状況>

現在、二つの顕彰事業の狙い、性格と位置づけに応じてターゲットを絞った広報を行うとともに適切なフォローアップを行うことによって国内各層に対して国際文化交流の意義を効果的に知らしめるべく検討している。国内向け広報においては若者層へ訴求するためにソーシャル・メディアを活用し、成果をあげている。海外向けには各海外事務所がウェブサイトやソーシャル・メディアを活用して情報を発信しており、海外事務所全体ではアクセス数を増加させている。

海外日本語教育機関調査では、日本語教育への他言語普及の影響を問う設問を設けて主に中国語・韓国語の影響の把握に努めており、事業方針の立案等に活用している。また、主要国の文化交流機関に関する調査では、基礎データのうち、特に予算内訳、スタッフ内訳、海外事務所数、自国語普及に関する事項（海外語学講座数・受講者数、語学試験実施状況）について追加調査し、政府の政策立案や基金の事業方針立案等のために活用している。

### ③ 自己評価

#### <評定と根拠>

評定： B

根拠：

SNS のフォロワー数が 126%増（対前年度比 226%）と大幅増加した。また、「をちこち」訪問者数も目標値の 127%に達した。また、ウェブサイトアクセス数も大幅な伸びを見せるなど、国際文化交流に関する情報提供および基金の認知度向上に貢献していることが伺える。

上記により、所期の目標を達成していると自己評価する。

#### <課題と対応>

- ア. 国内認知度向上のための効果的な広報が課題。SNS を活用して国内若者層へのタイムリーかつ適切な発信に努めており、今後も継続予定。
- イ. 顕彰事業に関しては、国際交流基金賞・地球市民賞の役割を明確にして、成果をより効果的にアピールすることが課題。授賞式への招待者の選定や広報を工夫する必要がある。

プログラム別実績数値(国際文化交流への理解及び参画の促進と支援)

プログラム	事業概要	事業実施状況	
		件数	来場者数 利用者数 アクセス数 配信数 等
		[前年度]	[前年度]
国際交流基金賞	学術、芸術その他の文化活動を通じて、国際相互理解の増進や国際友好親善の促進に長年にわたり特に顕著な貢献があり、引き続き活躍が期待される個人または団体を顕彰する。	4件(授賞式1件・講演会3件)  [ 4件 (授賞式1件・講演会3件) ]	授賞式来場者 279人 記念講演会来場者 287人  [ 授賞式来場者 297人 記念講演会来場者 288人 ]
国際交流基金地球市民賞	全国各地で国際文化交流活動を通じて、日本と海外の市民同士の結びつきや連携を深め、日本と海外の市民同士の結びつきや連携を深め、互いの知恵やアイデアを交換し、ともに考える団体を顕彰する。	3件  [ 3件 ]	
JFIC事業	国際文化交流、基金の活動、日本文化等についての情報を収集し、広く提供する。	JFICライブラリー運営 1件 JFICイベント 5件  [ JFICライブラリー運営 1件 JFICイベント 4件 ]	JFICライブラリー 来館者 22,706人 貸出冊 3,120件 レファレンス 712件  JFICイベント 5件・来場者222人  ホールさくら 利用率75%・イベント86件  [ JFICライブラリー 来館者 21,255人 貸出冊 3,378件 レファレンス 668件  JFICイベント 4件・来場者356名  ホールさくら 利用率70.3%・イベント81件 ]
広報・情報提供	基金の活動や国際文化交流に関する情報を、印刷物やインターネット等のメディアやセミナー等の開催により提供する。	7件  [ 7件 ]	ウェブサイトアクセス数 6,122,235件 「をちこち」ウェブマガジン アクセス数 281,771件 訪問者数 177,969件 メールマガジン配信 17,804件 ブログアクセス 18,359件(配信4件) ツイッター 16,983フォロワー フェイスブック 85,648フォロワー プレスリリース 102件 記者懇談会 3件 年報 4,700部およびHTML版  [ ウェブサイトアクセス数 5,451,329 「をちこち」ウェブマガジン アクセス数 268,411件 訪問者数 149,788件 メールマガジン配信 18,111件 ブログアクセス 60,329件(20配信) ツイッター 12,812フォロワー フェイスブック 32,601フォロワー プレスリリース 127件 記者懇談会 10件 年報 4,500部およびHTML版 ]